

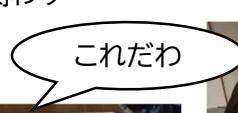
保育者と小学校教員
7月8月

【共通の視点】遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと
～お互いの活動を知り、カリキュラムの関連性を考えよう～

(認定こども園ぶどうの木竜ヶ崎幼稚園と龍ヶ崎市立八原小学校と城ノ内小学校の合同研修)
 ・「遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと」を保育者と小学校教員で捉え直す。
 ・幼児教育の実際について講話を聴き、5歳児が遊び込んでいる写真を通して、「幼児期の終わりまでの育ってほしい姿」(以後、10の姿と表記)の発見や、環境構成や先生の関わりなどについて、保育者と小学校教員が意見を出し合い考えしていく。

準備 5歳児が遊び込んでいる写真…園発行の「子ども達は毎日に夢中です」を加工した資料
 10の姿シート、やしろキャリアプラン【グランドデザイン】 ※八原+城ノ内→「やしろ」

【研修② 2時間程度 会場:ぶどうの木竜ヶ崎幼稚園】

1.イメージの共有 (5分)	研修のねらいやグループ協議の流れについて主催者が説明をする。 ・やしろキャリアプランのグランドデザインについて…市、学区でどんな子どもを育てていきたいか、今回は架け橋期作成の第一歩であること。
2.園長のお話 (40分)	○幼稚園教育の実際について 「何を『継続』させる？」－幼児教育施設と小学校の円滑な接続を願って－ (架け橋カリキュラム、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿など)
3.グループ演習 (40分)	○幼稚園の5歳児が活動している写真を見て、10の姿のシートを見ながら 以下の観点で話し合う ・10の姿のどれが見られるか。 ・どのような環境構成をしているか ・先生の関わり  ○講師が各グループを回り助言。  ○確認した10の姿が「やしろキャリアプラン【指導プログラム】」の4領域の どこと関わりが深いのか、考える。 ○グループの代表者が共有した内容を発表。
4.助言・指導 (30分)	○講師からの助言 国の「幼保小の架け橋プログラム」推進、架け橋カリキュラム作成について ○次回の架け橋カリキュラム作成研修の確認。

・写真を使って協議することで具体的に話ができ、その時の子どもの様子が共有しやすくなった。
 ・保育者と小学校教員とのグループ演習によって、相互理解を深め、カリキュラム作成の手がかりとしていくことができた。